

科目名		情報処理Ⅳ (Information Processing Ⅳ)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第4学年	物質工学科	学修	1単位	必修	演習	後期 100分/週	45時間		
担当教員		【非常勤】林孝哉 (【副担当】杉本 憲司)							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	(1)プログラムの編集、コンパイル、実行ができる。 (2)関数・配列・ポインタが使用できる。 (3)小さいプログラムの基本構成が記述できる。								
学習・教育目標	(B)①	JABEE基準1(2)			(d)-(1)				
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	情報処理Ⅰ、情報処理Ⅱ								
教科書	「基礎C言語プログラミング」河野ら著(共立出版)								
補助教材等									
達成度評価(%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40		20					100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	○	○		○					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○					
汎用的技能 【論理的思考力】	◎	◎		○					
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
C言語のプログラミングを通じ、情報処理の基礎概念や基礎技術を学ぶ。授業の形態は教室で講義を行い情報処理センターでプログラムの作成を行う。演習の結果はレポートにまとめてメールで送ることにする。									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	関数	<ul style="list-style-type: none"> 関数とは何か説明できる 関数を定義できる 関数を利用できる グローバル変数とローカル変数を正しく用いることができる 	(予習)前期で学んだ内容を理解すること。 (復習)関数を用いたプログラムが書けること。
2			
3	演習3	関数を利用した各種プログラムが書ける	(予習)関数について理解すること。 (復習)演習問題の内容を理解すること。
4			
5	配列	<ul style="list-style-type: none"> 配列とは何か説明できる 1次元配列の宣言し、正しく利用できる 2次元配列の宣言と利用ができる 1次元配列を用いて文字列を扱うことができる 	(予習)どのような場面で適用できるかを理解すること。 (復習)配列を用いたプログラムが書けること。
6			
7	演習4	配列を利用した各種プログラムが書ける	(予習)配列について理解すること。 (復習)演習問題の内容を理解すること。
8	中間試験		
9	試験返却・解答解説 演習4	<ul style="list-style-type: none"> 試験問題の解説を通じて重要部分、誤答が多かった部分を解説し、理解できる 配列を利用した各種プログラムが書ける 	(予習)配列について理解すること。 (復習)演習問題の内容を理解すること。
10	ポインタ・文字列操作	<ul style="list-style-type: none"> ポインタについて説明できる ポインタ変数の宣言ができる ポインタ変数を使用できる ポインタを利用し、文字列操作が行える 	(予習)どのような場面で適用できるかを理解すること。 (復習)ポインタや文字列を用いたプログラムが書けること。
11			
12	演習5	ポインタや文字列を利用した各種プログラムが書ける	(予習)ポインタと文字列について理解すること。 (復習)演習問題の内容を理解すること。
13			
14	まとめ	小さなプログラムが書ける	
	期末試験		
15	答案返却・解答解説 授業改善アンケートの実施	試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる	
総学習時間数			45 時間
講義			25 時間
自学自習			20 時間